



飛 翔



1 学年通信 号外 (1 学年リレー通信)

発行人: 1 年1 組担任 近 藤 啓 一

令和 2 年 5 月 2 9 日 No.2 5

「雑 感」

早いもので、5 月も最後の週となり、来週からは6 月です。皆さんは、規則正しい生活が出来ていますか？よく食べてたくさん栄養をとり、よく眠り、よく学び、時には体を動かしたり、好きな音楽を聴いたりうまくコントロールしてください。

私は、昔から早起きで、毎朝、4 時半頃に起き1 時間程散歩するのが日課になっています。今、使用しているスマートフォンに歩数計のアプリがあり、毎日1 万歩の設定をしています。毎日続けていると、連続記録という形で更新されるので知らないうちに現在は7 5 7 日連続という形で更新中です。宮沢賢治ではありませんが、「雨の日も風の日も…」雪で吹雪の日もなど、ここまでくると私がやらねばならぬ的な使命感に駆られ、又、健康にも良いことなので継続しています。

「早起きは三文の徳」という言葉がありますが、朝、散歩をしていると、ただ歩くだけですが、今日は、どう過ごそうかな？前は、ここが良かった、ここが悪かったとか色んなことを考えたり、あることのひらめきにもなったりもします。皆さんも色んな事でリフレッシュし、脳を働かせるといいですよ。

あと、言霊といって、言葉には魂があると言われるますが、一理あり、言葉は、発することで現実味を帯びてくることがあり、不用意に変な言葉や汚い言葉を発せずに、きれいな言葉や前向きな良い言葉を発すると良い方に物事が進んでいきます。世の中は、うまくいかないことや失敗することの方がずっと多いですが、疲れたときは休憩しながらも、前向きに、そして、きれいな言葉を発し、ポジティブに進んでいきましょう。

次の文章は、本を読んでいて今回のコロナウィルスについての記事がありとても感慨深かったので載せておきます。

「和を以て」

戦争、天変地異、疫病の流行。社会を襲う未曾有の危機は、きまって不意に訪れる。そして、人々は不安と恐怖から理性を失い、狂奔した行動に走る。

必需品の買い占めに走ったり、他国民を非難したり、人として見苦しい振る舞いをしてしまう。恐ろしいのは移ろいやすい人の心。平時であれば自制心を保つところが、非常時となるとたががゆるみ利己的になる。おのずと下品になっていく。国民の品格が問われるのは平時よりもむしろ、こうした苦難のときではないだろうか。元来、日本人の素晴らしさは和を貴ぶところにある。だからこそ、秩序を守りながら衆知を集め、危機を打開することができる。それは、数多くの被災地でも、私より公の事を優先し、他人への思いやりを忘れない国民の行動の一つ一つに、存分に発揮されているといえよう。

和の伝統精神を以て、これまで通り節度を失わず、世界の模範となる国民でありたい。競い合うより、一つになって協力し合う時代に来ている。そのさきがけとして日本人は成熟した大人の国民でありたい。